

いつも美しいなあと見つめる。

記憶の露頭はどこまでさぐっても際限がない。

むかごで殖える水草

大滝末男

昔はぬかごともよばれていたむかご(零余子)という言葉を目にすると、蕪村の俳句「うれしさの箕(み)に余りたるむかごかな」を思い出す人も多いことでしょう。この場合のむかごは、ヤマノイモの葉腋にできる珠芽(肉芽)で、これは小指の先ぐらいの大きさで、ジャガイモ状をした芋(いも)をさす。百姓育ちの私は、子供の頃ヤマノイモやナガイモのむかごをたくさんとり、ゆでて食べたことが思い出されなつかしい。

さて、水草の間にもむかごで殖えるものがあるが、顕著な例は、水田雑草の1つで知られるオモダカ科のアギナシ *Sagittaria aginashi Makino* と熱帯スイレンの間であろう。この両者について写真を撮ったので紹介する。

(1) アギナシのむかご

アギナシの生育していた休耕田に、4~5月頃行くと、アギナシのむかごが多数水面に浮遊しているのを見ることが出来る。アギナシのむかごはマッチ棒の頭ぐらいの大きさで、1株に20~30個もできる。黒褐色で堅い種子状をしており、オニユリ(3倍体)のむかごよりは小さい。

このようなむかごは側芽が貯蔵物質を貯えて肥大した無性芽で、珠芽・子球・胎芽ともよばれている。水面に浮遊するアギナシのむかごは風で流され、随所で発芽成

長して水田雑草となる。(写真1)

(2) 熱帯スイレンのむかご

スイレン科は世界に50種ぐらいあり、園芸品種は200種以上あるといわれるが、栽培上温帯スイレンと熱帯スイレンに分けられる。むかごを生ずるのは、おもに熱帯スイレンで、熱帯スイレンは温室内では冬季でも栽培可能で、開花させることができる。熱帯スイレンの中には葉身の表面の中央基部に、むかごを生ずるものが、King George 種ほか10余種知られている。現在、静岡県賀茂郡東伊豆町熱川温泉にある熱川バナナワニ園の大温室には、70品種ほど保存されている熱帯スイレンのうち、むかごが生ずるのは、*Daubenia* (*Dauben*) (写真2) ほか5品種がある。写真は、去る3月中旬撮影したものであるが、むかごが開花中だったので面白いと思ったので紹介する。

バナナワニ園に勤務し、研究活動をしている清水秀男氏は水草研究会会員であり、彼の説明によると、*Daubenia* は、1863年ドイツの Dr. Daubeny が *Nymphaea micrantha* と *N. caerulea* とを交配して作成した品種だそうである。片親の *N. micrantha* は西アフリカ原産(1846年イギリスに導入)で、むかご性を有し、これが優性に遺伝して、その子孫にむかごの形質が出現するようになったのだそうである。

ご承知の人も多いと思うが、バナナワニ園は、2000坪の温室とワニ池の暖房に、豊富な温泉(105℃、500ℓ/分の井戸3本)を利用し、1年中、63マスあるスイレン池の水温を26~28℃に保存し、各種の熱帯スイレンやおオニバス *Victoria cruziana d'Orbigny* その他の

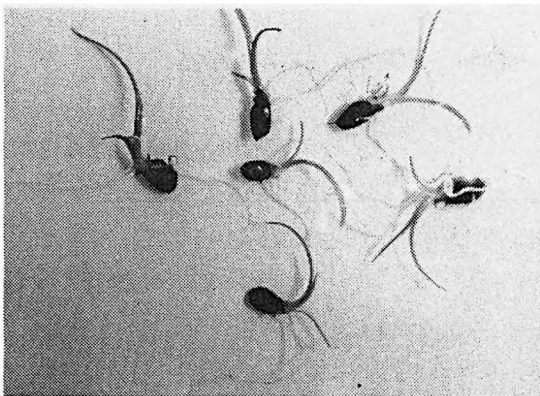


写真1 アギナシのむかご

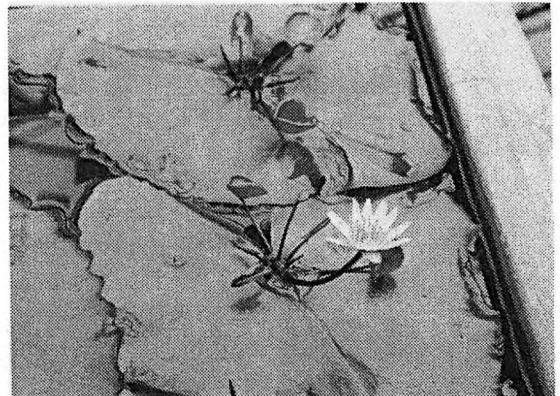


写真2 熱帯スイレンのむかご

水草のほか、各種の熱帯植物を多数開花させ、観光客に 最後に、ご協力頂いた熱川バナナワニ園の研究員清水・
公開(大人600円、中学生以下300円)して、喜ばれ 横山両氏に対し、深甚の謝意を申し上げる。
ているので、ついでにご紹介しておく。 (57.4.13 記)

『水草研究会第4回全国集会』

下記により全国集会を開催致しますので、ふるって御参加下さい。なお、参加御希望の方は同封の返信用ハ
ガキにて、7月3日までにお申し込み下さい。宿泊施設および会場案内は別紙を御参照下さい。

<日 時> 昭和57年8月7日(土) 13:00 ~ 17:00

<会 場> 倉敷文化センター TEL 0864-23-2135
(倉敷市本町: 山陽本線 倉敷駅より徒歩15分)

<プログラム>

(1) 話題提供

1. 関東地方東北部における水草の観察1.....野口 達也(茨城県立結城第2高校)
2. 東南アジアの水草.....生嶋 功(千葉大)
3. 岡山県におけるホテイアオイの評価.....沖 陽子(岡山大農生研)
4. 環境変動に対する雑草の反応—水生雑草を中心として—
.....植木 邦和(京都大)
5. 遺跡出土種実の同定と古代農耕について.....笠原 安夫(元岡山大)

(2) 総 会

- (3) 同定会および珍種紹介・交換会(参加自由)
(於 岡山大学農業生物研究所内標本室)

18:00 より懇親会

『水草繁茂地エクスカーション』

<日 時> 昭和57年8月8日(日) 9:30 ~ 16:30

<日 程> (岡山駅)→倉敷駅→日応寺→百間川→阿部池→金甲山付近
(9:30 出発)(昼食)
→岡山駅
(16:30 解散)

※ 集会参加費(1,000円)、懇親会(約3,000円)およびエクスカーション実費(約2,500円、弁当代
込)は当日、会場にて受付けます。

※ 集会に関する問い合わせは 倉敷市中央2丁目20-1 岡山大学農業生物研究所
沖 陽子 TEL 0864-24-1661
0864-24-0770(自宅)